

北海之光

1月号 北海道教区報

主にあってはあなたがたの
労苦がむだになることはない
コリントI 15章58節

発行所 北海の光社
001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12
日本聖公会北海道教区事務所
電話 011-717-8181
FAX 011-736-8377
E-mail:hikari@nsskk-hokkaido.jp
http://www.nsskk-hokkaido.jp
発行人 植松 誠

新年おめでとーございます。

北海道教区 主教 ナタナエル 植松 誠

最近、自分が歳をとってき
たということをよく実感しま
す。体力、気力、知力の衰え
は仕方ありませんが、昔のこ
とを思い出すことが多くなっ
てきました。「昔は・・・、
私の若いころは・・・」など
という言葉も無意識のうちに
出るようになってきました。そし
て、今、特にこの時期、いた
だいたクリスマスカードや年
賀状を見ながら、私の人生の
いろいろな場面で出会った
方々のことを思い出します。
中にはあまり意識してなかっ

た人、あまり思い出したくな
い出会いや関わりなどもあり
ますが、今、自分の来し方を
振り返りますと、何だかんだ
と言いながらも、今の私の存
在は、これらの方々との出会
いの中で形作られ、少なから
ぬ影響を受け、祈られてきた
その集大成であると思つづく
思われます。

若いころの説教原稿など、
たまに読んでみると、自信
たっぷり、やる気満々の自
分の姿があり、まだまだ人生
がどのようなものであるかわ
かつていなかった自分に恥ず
かしさを感じますが、何かい
とおしい思いにもなります。
人生って、そんなに簡単では
ない。決して思い通りになる
ようなものではない。目標を
立て、そこに至る筋道を考
え、実行に移しても、いつも
いつも挫折と失敗。そして後
悔。その繰り返しでした。子
育てだって、もつとあのとき
にこうしておけば良かったと
いう思いが募ります。夫婦の
間のこと、親とのこと、友人
とのこと、聖職や信徒とのこ
と・・・。嬉しかったことも
ありますが、それ以上に辛
かったこと、悲しかったこと、
そして、自分の中で消してし
まいたい過去の部分など
が思い出されます。

毎年秋、収穫感謝の礼拝を
捧げるたびに思うことがあり
ます。私たちは皆、不揃いで
訳ありの収穫物だと。どう見
ても、見栄えは悪く、市場価
値はたいしたものではない。
他の野菜や果物と比べれば、
明らかに劣っている・・・と。
しかし、たとえそうであつて
も、神さまの愛の中で、必要
な光や雨、天候を与えられて、
ここまで育ってきたのだと。
だから、訳ありの私たちの味
はいいに決まっている。
収穫感謝礼拝の説教でいつ
も言うことがあります。思い
出せば、いろいろあつた私た
ちの人生。何があつたにせよ、
それらのどれ一つ、無駄にな
ることなく主は用いてくださ
り、恵みに変えてくださつた
と。なぜなら、そのあなたが、
今、ここに、主の御前にいる
のだから。
誰が何と
言おうと、
あなたが
それが、主
の御目に
は最高の
収穫物な
のだと。

主にあっては、あなたがたの
労苦がむだになることはない

第二世紀宣教 二〇一九年

コリント人への第一の手紙 十五章五八節より

日本聖公会北海道教区

北海の光713号

司祭 ダビデ 藤井八郎 書
誰が何と
言おうと、
あなたが
それが、主
の御目に
は最高の
収穫物な
のだと。



「心の窓をひらく」 福音と私(二二二)



— 今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか —

釧路聖パウロ教会信徒

ヨハネ 津 田 勉

好きな聖句

「わたしたちは 知って
いるのです。苦難は忍耐を 忍
耐は練達を 練達は希望を生
むということを。」

ローマの信徒への手紙五章三節から

「津田家とキリストの福音」

私達津田家兄弟の信仰
の原点は、祖父母 津田
四郎左衛門清晴(後に四郎平)
と美與迄遡ります。

津田四郎平は系図によれば
津田家の始祖 津田道意か
ら九代目・越前福井藩主松平
茂昭に仕える武士でした。

明治維新で失業武士となり
同志と牧畜業を興すも失敗し
最後の屯田兵制度に応募、厚
岸太田村に明治二三年に入植
しました。未開の蝦夷地へ希
望の光を求め家族一家七名

と喜九郎は白糖と十勝白人の
アイヌ学校教師を勤め宣教師
の勧めにより伝道師へと導か
れました。

父正尚は、札幌で通信省の
通信技術を学び電信通信士と
して白糠郵便局へ入局しま
す。釧路郵便局・帯広局勤務
を経た後、特定局の南大通局
長を拝命しました。この間明
治四四年に国府寿賀と結婚し
ます。寿賀は看護婦・産婆の
仕事を続けつつ一〇人の子ど
もを育て上げました。

「ヨハネ津田勉の誕生」

厳しい自然条件の中での過
酷な兵役と労働は武士四郎平
や家族にとり想像をはるかに
越える厳しいものでした。

開拓が難渋する苦斗の中で
キリストの福音に接した四郎
平は転宗を決意し厚岸教会で
受洗。明治二九年の事です。
翌年妻美與・喜九郎・正尚が
受洗しクリスチャンホームが
誕生しました。

太田村での開拓は現役
三年・豫備役四年の計七
年で後備役となり原始林
一万五〇〇〇坪を農地へ変え
る大規模の計画でした。一〇
年間の太田開拓の後、四郎平

時です。鶏・兎・山羊等を飼い、
卵を駅前で売り畑では、野菜
を育て家計を支えました。反
抗期だった私は、母親の言い
つけ通り木末先生の教会へは
あまり出席しませんでした。
祖父四郎平の影響か私と弟は
教職の道へ進みます。

私は釧路管内の小・中学校
に定年迄勤務し退職後は、釧
路市の嘱託職員で市役所へ老
人福祉相談員で三年、高齢者
福祉の諸課題を学ばせて頂き
ました。

昭和三六年に、上田主教・
芥川司祭のもと、妻正子と結
婚、長男学・長女かおりが与
えられました。

釧路に生まれ、釧路で育つ
た私の信仰は、地域的に偏り
がちを覚えます。努めて教区
行事の教区礼拝・教区修養会
への出席を始め多くの教会訪
問と交わりを心がけて参りま
した。幸い家内の賛同も得て
一緒に行動ができ、道内外に
信仰を共有し合う多くの教友
が与えられており感謝です。

悟・苗子・岩崎諸兄弟の強
い勧めもありキデオン協会の
会員となり教会メッセージを
通して他の教派の宣教に触

れ、改めて聖公会に籍をおく
恵みに感謝しております。
「歩みを回顧して」

祖父母が主に導かれ、両親
が受け継いできた聖公会、最
近は過ぎた道を振り返る事が
多くなりました。

岡村司祭から「信徒奉事者
としてのご奉仕を」と伝えら
れてより教会生活を生活の中
心に置くよう心掛けて参りま
した。日曜学校の事・クリス
マスキャロルで信徒宅訪問・
宣教師学校での学び、教区修
養会・ブロック別修養会・善
きサマリア人奉仕活動等、次
から次へと走馬燈の様に想い
出されます。芥川司祭を始め
お世話になった多くの聖職の
方々とご家族の皆様、宣教師
の働きでは、下川雅弘兄と教
会の働きを、岩崎ご夫妻とは
「教会を守り育てる信徒の努
め」を語り合いました。私は
今祖父母からの信仰を次に伝
えるつとめをしつかり果たし
ていかなければと願っていま
す。

感謝 北海の光献金(敬称略)



常置委員会報告 第二回 二月二日

《協議事項》
一、第七七(定期) 教区会の
振り返りの件
・一日目の聖餐式の中で二名

の執事按手式を執り行う。
・議事進行に関して例年より
意見が多くだされた。
二、会計監査委員指名の件
・能登裕さん(札キ)、木島
嘉子さん(ミカエル)を指名
する事とした。

三、新教区会期の常置委員会
が選任する各委員長・部長選
任の件
・所定の委員長と部長の選任
を行った。
四、教区事務所副主事人事に
ついて

大野和哥子(宝塚市) 林
山影 静子(大阪市)

雄嗣・鈴子(東京都)



主教室より

新年おめでとございま
す。この一年、私たちの前
に何が待ち構えているか、
期待もあり、また不安もあ
ります。

昨年もいろいろなことが
ありました。嬉しいことも
ありましたが、悲しいこと
も辛いこともたくさんあり
ました。北海道胆振東部地
震のような自然災害もあり
ました。「どうして、この
ような悲しいことが起る
のでしょうか。神様はなぜ
このような試練を私に与え
るのですか」と私は教会で
もよく聞かれます。愛する
人の不治の病、身内の突然

の死、人からのいわ
れなき中傷など、そ
のような理不尽とし
か思えない状況の中で私た
ちの信仰はぐらついてしま
うのです。

信徒からこのように聞かれ
たとき、ほとんどの場合、
私はその方を納得させられ
る模範解答を持っていませ
ん。ただ、私がいつも信じ
ている聖書のみ言葉を開
き、それを一緒に読みます。
それは旧約聖書のエレミヤ
記一九章一節にあるこの
ようなみ言葉です。「わた
しは、あなたたちのために
立てた計画をよく心に留め
ている、と主は言われる。
それは、平和の計画であっ
て、災いの計画ではない。

将来と希望を与えるもので
ある」。

神様は私たちのために計
画をお持ちです。それは今、
私たちにわからなくても、
納得できなくても、神さま
のみ旨の中にあり、希望と
平和の将来を約束するもの
だということ。私たちの目
には不幸、災いとしが見え
ないことに対して、どうし
て・・・と解答を詮索する
ことをあえて止めて、神さ
まの私たちへの「ご計画の中
に、それを委ねていきたい
と思うのです」。

三月より、札幌聖ミカエル
教会の田中春樹さんが勤務す
ることを承認した。
五、二〇一九年教区礼拝の件
・日時：五月一日(土)
場所：札幌キリスト教会
実行委員長：山崎典美さん
を選任した。
・第七八(定期) 教区会日時
の件
・二〇一九年一月二二日
(金)～二三日(土)と決定
した。
六、教区主教の車両の件
・購入する事を承認した。

堅信式受領 おめでとう

新札幌聖ニコラス教会
ヨセフ 菅原 奨詞しょうじ
(二月九日)
札幌聖ミカエル教会
ミリアム 原田 あかね
(二月一六日)
札幌キリスト教会
ステパノ 松井 祐樹
オーガスチン 松井 周輔
(二月二五日)

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

二月二三日(水)
午前一〇時三〇分
於 主教座聖堂
次の方々を覚えて祈ります。
執事 桑 山 隆
二〇一三年二月二日

司祭 ハリー・W・ハンセン
一九九六年二月八日
司祭 長 澤 義 正
一九六一年二月二日
伝道医師 ウィリアム・ウリス
ロイ・コルバン
一九一五年二月二〇日
司祭 向 井 山 雄
一九六一年二月二四日
伝道師 田 村 均
一九七八年二月二六日





▲稚内聖公会

写真で見る 2018 クリスマス光景

北海道教区 23 教会



▲網走聖ペテロ教会



▲札幌聖ミカエル教会



▲聖マーガレット教会



▲新冠聖フランシス教会



▲今金インマヌエル教会



▲新札幌聖ニコラス教会



▲北見聖ヤコブ教会



▲函館聖ヨハネ教会



▲有珠聖公会



▲岩見沢聖十字教会



▲苫小牧聖ルカ教会



▲旭川聖マルコ教会



▲室蘭マタイ教会



▲帯広聖公会



▲紋別聖マリヤ教会



▲小樽聖公会



▲釧路聖パウロ教会・厚岸聖オーガスチン教会



▲札幌キリスト教会



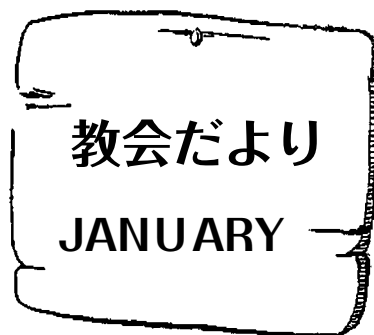
▲深川聖三一教会



▲平取聖公会



▲留萌キリスト教会



▽新冠聖フランシス教会

訃報が二件続きました。八日(土)には節婦にお住いのマルタ本田邦子さんが逝去—享年六七歳。そして九日後の一七日(月)早朝、一月に病床洗礼を受けたナオミ奥田静江さんが平安の内に召されました。九四歳でした。お二人のご葬儀はそれぞれ、静内の同じ斎場にて執り行われました。

二三日(日)には「降誕日聖餐式」が行われました。三石にお住いのお二人の、小さいお友達ももお出でになり、和気藹々の愛餐会でした。いつもように牛乳でカンパイ!

▽旭川マルコ教会

一二月に入り教会の暦は一

足早く新しい年を迎えました。(C年)一二日は、子どもたちのクリスマス。野村学さん(マルコモグラ)のマジックショーで子どもたちは大喜び。二三日(日)クリスマス大礼拝と祝会。二四日(月)キャンドル礼拝とミッドナイトマス。二五日(月)第三

聖餐式と滞りなく終わりました。選挙を経て、新しい(同じメンバー)教会委員も決まりました。三〇日(日)は新旧合同(同じメンバー)での教会委員会が開かれました。同じメンバーですが、新しい風が吹くこと、期待しています。

▽岩見沢聖十字教会

一二月に入り、幼稚園では聖誕劇や祝賀会の練習が行われる。一四日、年長による聖誕劇。観覧した保護者は子ども達の成長に涙する場面も。

二三日、『平成最後のクリスマス礼拝』が植松誠主教により執り行われる。内外から多くの方が出席。幼稚園教諭による賛美のハーモニーはまるで天使の歌声。この日を最後に、池川ご夫妻は札幌キリ

スト教会へ転籍。お元気で。

三〇日、横山明光司祭司式による聖餐式。愛餐会では話に花が咲く。来年は改元の年。新しい時代に期待します。

▽有珠聖公会

一二月三日、今年で六回目となるクリスマス・コンサート。今回は「妙なる調べ天より響く」と題して、札幌より小貫多喜子さん(聖マーガレット教会)のソプラノリサイタル。佐藤栄里子さん、島内美佐子さんのピアノ伴奏にも感謝。今回も礼拝堂は満場立ち見も出る二二〇名の方々が地元有珠を中心にお集まり下さり会場一体となって楽しみました。撤収の後、引き続きキャンドルサービスに三〇名の出席。礼拝後は、茶菓で楽しい祝会の時を共にし、電灯一つない教会の丘を下って帰途に就きました。

▽留萌キリスト教会

一二月は畑の仕事を終えた小林さんが教会礼拝に出席し、名寄の藤井さん夫妻が自宅礼拝になります。藤井妙子さんは、クリスマスイブの礼

拝のためにJ.Rで名寄から半

日の道のりを往復。頭が下がります。イブの礼拝には信徒一三名に加えてその家族とお客様二〇名が集い、キャンドル礼拝をしました。礼拝後にはミニバザーと祝会、そして松橋秀和さんのリードによる、懐メロを歌う催しで楽しいひと時を過ごしました。今年のクリスマス献金は祈りを込めて、J.O.C.Sにお献げいたします。

▽小樽聖公会

一二月七日(金)、市原信太郎司祭(中部教区)による「クリスマス知ってるつもり!」が行われ、一般の方も多く参加してくださいました。第一部ではクリスマスの意味、知識、考え方などについて楽しくお話いただき、第二部ではより教会の礼拝との関係など詳しく伺いました。

クリスマスは二四日夕にイブ礼拝を、二五日には降誕日聖餐式をどちらも永谷司祭司式のもとお捧げしました。礼拝後の祝会では、食事を楽しんだ後にプレゼント交換会、

バイオリン、ピアノ、オカリナでの演奏を聴いたりしました。

▽稚内聖公会

一二月一七日、一足早くクリスマス祝う。集ったのは本原さん、「イエスの姉妹会」のマドレーヌさん、旭川から参加した久末隼一さん、牧師の四人であった。礼拝のあとお祝い会。お茶とお菓子と果物を分け合いながら歓談のひと時。近況や思い出話に花が咲いた。来春、福島県の二本松に移られるマドレーヌさんと一緒に祝うクリスマスはこれが最後。稚内は本当に良いところであった由。福島でのお働きに導きと祝福を祈る。(ノシャップに碧い夜が来るクリスマス わぶん)

▽平取聖公会

平取町の「沙流川アート館」では毎年「クリスマス・ギフト展」が開かれています。川向小学校跡地を活用した施設ですが、三つのアトリエを利用している画家さんやアート館でこれまで個展を開いた四三名の方々が、クリスマス

にちなんだ作品を寄せていました。記者も写真で参加しましたが大勢の見学者がありました。

教会のクリスマスは二四日に捧げられました。玄関塔屋の十字架が壊れていましたが礼拝堂外側の壁にステンレス製のものが掲げられました。

保育園の園児は元気です。
▽札幌キリスト教会

一二月二日、子どもたちを中心にG.F.S.のXmasを楽しみました。八日、中部教区の市原信太郎司祭のお話に触れ「クリスマス知っているつもり？」を学ぶ。九日、私たち教会の将来を共に考える「信徒協議会」が初めて開催され、分科会にて今後の教会にとつて貴重な意見が多く寄せられました。次年度以降取り組む課題となるでしょう。クリスマス諸行事は二二日の子どもミニコンサートに始まり、イブ礼拝パーティー、降誕日は植松主教様のご巡回をいただき聖餐式を守りました。松井祐樹さん・周輔さんご兄弟が堅信の恵みにあずか

りました。

▽新札幌聖ニコラス教会

前月二二日、定任教役者の上平更聖職候補生は執事接手を受け牧師補としての働きが開始された。神様のお恵みに感謝。一日(土)、北星学園大学女子中高ハンドベルクワイアによる恒例の降誕節演奏会開催、四〇余名の聴衆と共にすばらしい演奏を楽しんだ。

九日、植松主教を迎えての聖餐式で菅原奨詞兄が洗礼・按手の、ご子息の俊志君と聖太君が洗礼の恵みに与った。二三日は横山司祭と上平執事による降誕日総員聖餐式と祝会、二四日のイブ礼拝、二五日の降誕日聖餐式とうれしい行事が続く、厳かな雰囲気の下で主の降誕を祝った。

▽札幌聖ミカエル教会

いつもより少し雪の少ないアドベント、主様の巡回日一六日は特別な日となる。渡部譲くんの洗礼式と原田あかねさんの堅信式、そして一月にJ.O.C.S.のワーカーとしてタンザニアに赴く雨宮春子さんの派遣祝福式が行われた。

また礼拝後には祝会、彼女の働きを支えるチャリティコンサートがあり、遠方から出席された多くの方々と共に主のみ守りと導きを祈る。二三日はクリスマス総員礼拝、例年通り教会、幼稚園、国際青年寮がともに祝う。大晦日の夜、植松主教様司式の新年を迎える礼拝で一年を締めくくる。

▽帯広聖公会

米国聖公会に転籍された李司祭よりメール。ご家族の皆さんと共に活躍の様子が伝えられ、神のご加護をお祈りしております。今年一年、主様、松井管理司祭、永谷協働司祭のご奉仕に心から感謝。一九日恒例となった「クリスマス・キャロルを唄う会」が新装となった帯広厚生病院で行われ、病院職員の皆さんや闘病中の患者さんとの交わりのひと時となりました。続いて藤丸デパート前で十勝管内八教会三〇名ほどの皆さんとキャロリング。二三日、永谷司祭による「クリスマス総員礼拝」。今年「帯広厚生楽団」の特別出演で楽しい祝

会が行われ、二四日夜「キャンドル・サービス」では「フルート」の調べの内に主のご降誕の喜びと、この一年の御恵みに感謝の祈りが捧げられました。

▽函館聖ヨハネ教会

手作りクリスマスグッズにキー等六〇分のミニバザーに近隣から参集。一五日CSクッキー作り。二三日降臨節第四主日後祝会。六人の子ら中心のハンドベル、サンタも登場し和やかな楽しい会でした。この日から恒例のセントジョンズバー、連休と重なり地方常連客市民と大勢来られ大盛況。二四日練習を重ねた聖歌隊の歌声が空から響く中八〇名ほどの方々と共に御子の誕生を迎えた。二三日、佐藤昂恭子夫妻受洗、志賀編集長骨折りの花みずき六一号発刊。司祭は二〇日まで三度刑務所通い。この一年を象徴する天候です。祝降誕新年多幸。

▽紋別聖マリヤ教会

一二月に入り、なかなか降雪に恵まれず、嬉しいやら寂しいやらスタッドレスタイヤ

の減り具合を気にするこの頃。

一二月一五日、自宅療養中であつた吉山一徳兄が病状急変により天に召されました。一八日に通夜の祈り。一九日に葬送式が阿部司祭の司式のもとで行われました。召された吉山兄の魂の平安とともに世にあつて生きるご家族への慰めがありますように。

二三日、クリスマス礼拝。三五名の集まりの中で楽しい時を過ごしました。

▽釧路聖パウロ教会

二三月、クリスマス礼拝で

▽厚岸聖オーガスチン教会

一二月九日み言葉礼拝では、津田勉信徒奉事者の司式。勧話で当教会に於いて、昭和八年から三二年迄の教会の歩みを振り返り、芥川寿哉司祭のお働きに感嘆。司祭は保育園のクリスマス会に始まり、刑務所、友の会、釧路と帯広のクリスマス礼拝、お疲れ様でした。その間、三ヶ月の入院から退院して、自宅療養の山本寿福兄宅へ、一日も早く回復できますようお祈りしています。今年、厚岸でのクリ

スマス礼拝は時間的に無理で

したが、二三日の祝会では厚岸から佐田菊男兄が参加、そして、佐田里美姉が持参した、温かなアサリ汁や婦人達の持ち寄りのごちそうやデザート

もあって、心も体もみたされた日でした。二五日のクリスマス礼拝では、保育園の園児も参加して、可愛い声で聖歌やお祈り、寒い礼拝堂がほっこり暖かくなりました。

▽深川聖三一教会

一二月二日委員会、新年総会までの予定決定。九日全員で教会報發送。一三日保育園職員会議、主任よりインフルエンザ対応について指導あり。一五日同園のクリスマス

お祝い会、聖劇他に出する我が子に目を注ぐ父母の瞳に我が子が映る。サンタ来訪に園児絶叫。一六日雨宮春子さんアフリカへの出発式に高木和枝さん出席す。二三日雨宮寿子さん、春子さんご来教、旧交を温める。春子さんより詳しくアフリカでの活動について伺う。二四日イヴ礼拝、二五日クリスマス礼拝と役員

選挙を行う。

▽苫小牧聖ルカ教会

イルミネーションが見られなくなってきたこの頃、聖ルカの庭は今年も美しく光に満ちています。

八日、聖ルカでゴスペルコンサートが行われました。二〇名の団員の歌声に、満員の礼拝堂が震えました。

クリスマス祝会の準備が前日から行われ、二三日は新築の幼稚園で楽しい時を過ごしました。

今年は、雪の無いおだやかなクリスマスとなりました。聖ルカのアイドル猫、ノールとネロには、またたびのプレゼント。

▽室蘭聖マタイ教会

御降誕おめでとうございませ。何十年の間、皆勤賞をさし上げた位オルガニストとして皆を導いて下さった白藤久枝さんが、膝の関節手術の為入院なさる事になり寂しい礼拝を覚悟していたのに、

吉野司祭のお陰というか近代機器に疎い身には思いがけぬ伴奏に、元気に皆で聖歌を歌

い、今年から始めてお弁当をとって何か新しい雰囲気のリスマス祝会となりました。東京の齊藤篤様御夫妻から今年は今、読みたいと思う本やDVDなど例年の様に沢山お送り頂き本当に感謝、音読が大切という年齢の私達に励ましを頂いたと思います。

▽今金インマヌエル教会

いつもより少し遅いXマス準備と大掃除が一二月二日に行われました。毎年恒例の焼いもも、ひろ〇ちが取り置きしたくなる程美味しく出来ました。念入りの掃除にイルミネーションも増量されたピカピカのインマヌエル教会で

二五日の降誕日礼拝を迎えました。今年はずっと言う事もあり、手作りは断念、注文したご馳走に直さん手作り、いや今回は八郎氏手作りのデザートとターキーでの祝会や

全員参加の軍手かるた大会も大盛り上がりでしたが、若者に瞬発力で張り合うのは止めましよう。

▽北見聖ヤコブ教会

施設におられる方や私宅聖

餐に司祭は回り、逆に励ましを受けています。二二日、ハシナ梅澤静子姉の逝去三年記念式が長男安雄さん宅で行われました。二三日クリスマス礼拝を一五名で捧げ、恒例の集合写真を岡嘉彦さんが撮ってください、鴻上啓子さんの絶妙な司会で祝会が楽しく行われ、一分間スピーチでは笑いと感動が起こりました。二六日、教会の隣の空き地をご厚志でお貸しくださっている地主さんに感謝の品をお届けいたしました。「水落とし」と床下の電熱器のスタートです。

▽網走聖ペテロ教会

婦人会輪読・ペテロの教会会掃除・勉強会マルコ福音書の学び、どの会も三・四名の参加ですが、とても豊かな時間を過ごしています。第三主日みことばの礼拝では、青柳マナさんが勧話担当。職場で出会った心温まるお話をして

下さいました。今年のイヴ礼拝は飯野司祭が例年の形式を再編、新しい試みがありました。司祭入堂時の聖歌は、ク

リスマス祝会でアンコールが出るほどステキでした。郵便受けの鍵が折れたり、鐘のロープが切れるトラブル発生。全て直ぐ解決。感謝。

▽聖マーガレット教会

アドヴェントに入り広く道内外よりクリスマスカードと共に献金も届く。降臨節は、教会を憶えて祈ってくださる信仰の友とその祈りを知るときでもある。

一二月二三日(日)降臨節第四主日午後、こどもクリスマス会を行う。連休のためであろうか、定刻に集まったこどもが三名。それでも七名のこどもを神様は集めて下さり

イエス様の御降誕を祝う。歌ありダンスあり、劇あり、ゲームありの盛りだくさんの内容。最初、緊張していたこどもたち、だんだんと笑顔になる。

